

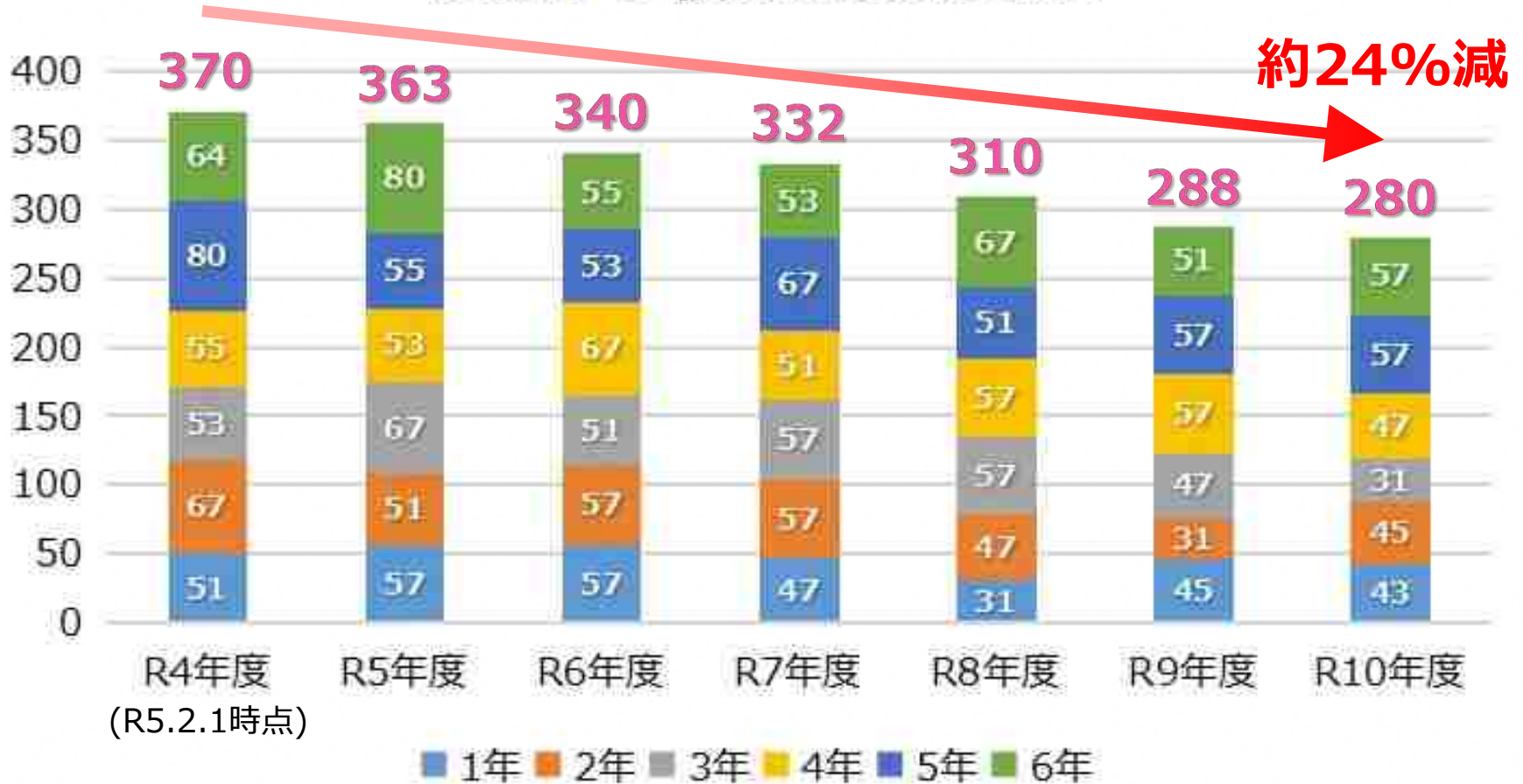
令和5年第1回定例会 一般質問参考資料

令和5年3月8日
岬町議会議員
谷地 泰平

町立小学校の児童数見込

R5年度以降は現時点での各小学校の学区内の子どもの数より算出
私立小学校の選択や転入・転出による増減予測は考慮せず

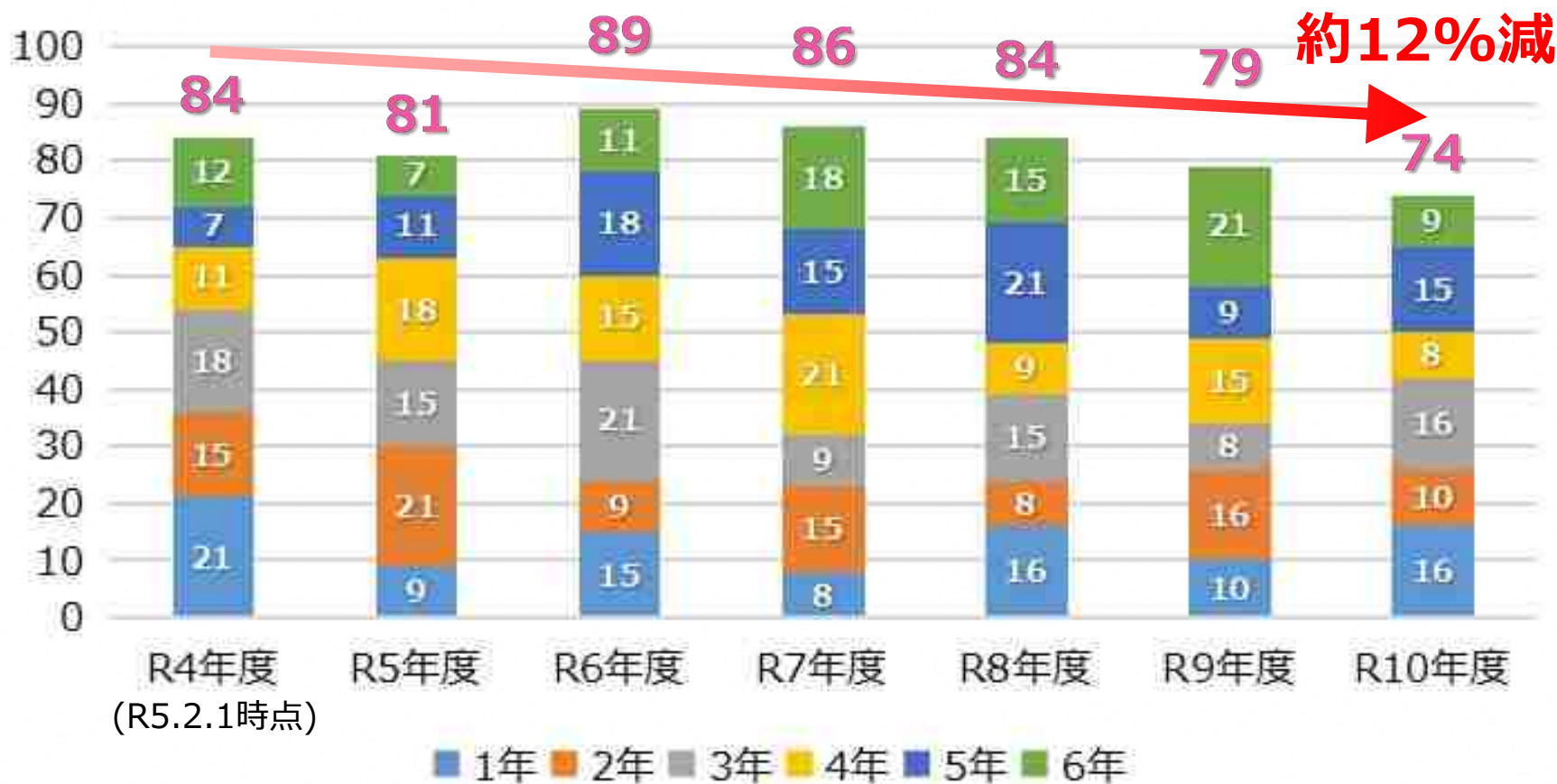
淡輪小学校の児童数見込



町立小学校の児童数見込

R5年度以降は現時点での各小学校の学区内の子どもの数より算出
私立小学校の選択や転入・転出による増減予測は考慮せず

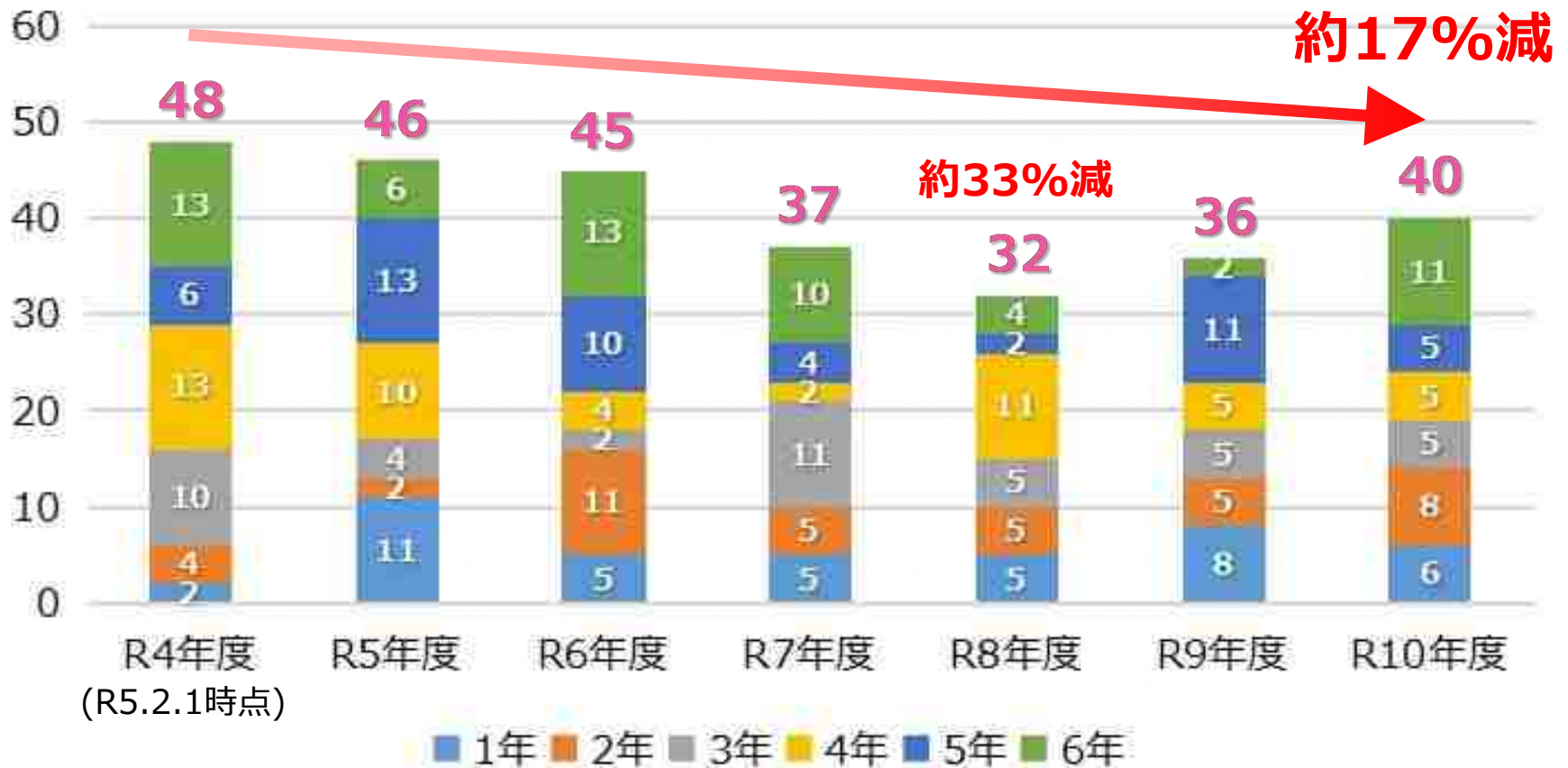
深日小学校の児童数見込



町立小学校の児童数見込

R5年度以降は現時点での各小学校の学区内の子どもの数より算出
私立小学校の選択や転入・転出による増減予測は考慮せず

多奈川小学校の児童数見込



【現状】 公立小中学校数と児童生徒数の推移（H元～R 3）

- 過去10年間で公立小中学校の学校数は9.9%減少（3.1万校→2.8万校）。
- 過去10年間で公立小中学校の児童生徒数は9.8%減少（1000万人→900万人）。
- 1市町村に1小学校1中学校等※1という市町村は自治体の14.0%※2にのぼる。

※1：小学校と中学校が1校のみ、
小学校1校のみ、または義務教育学
校1校のみの場合
※2：令和3年5月1日時点の市町
村数（1747市町村）のうち244市町村



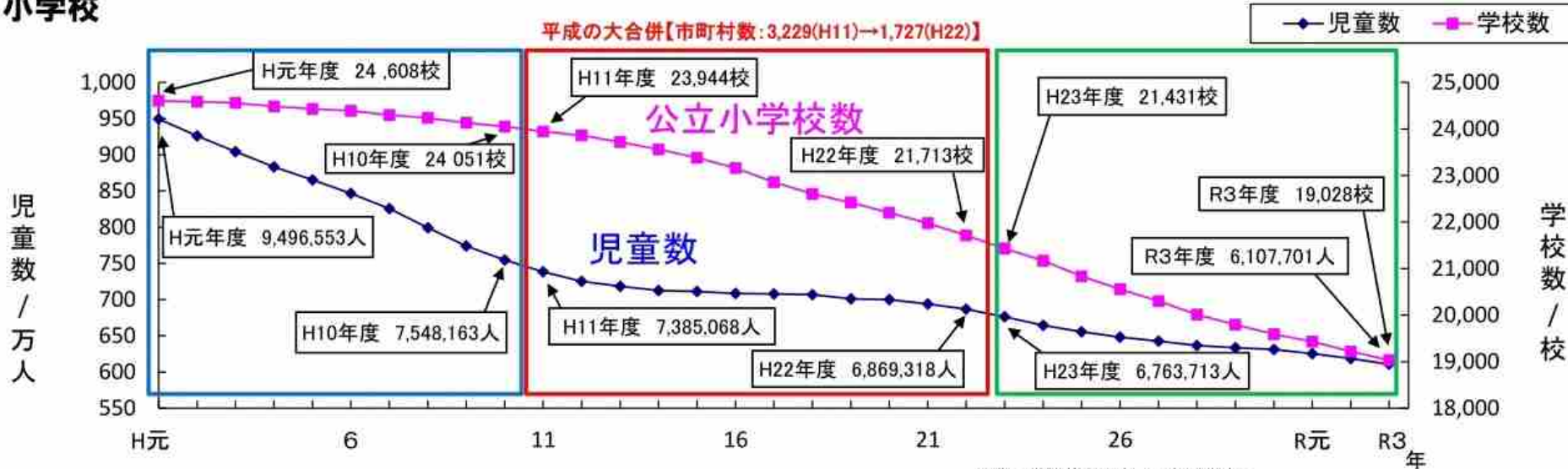
※引用：文科省. 学校魅力フォーラム～行政説明～, p4.

出典：文部科学省 学校基本調査

https://www.mext.go.jp/content/20220819-mxt_syoto02-000023856_1-1.pdf. 2022年8月26日

(内訳) 公立小学校の数と児童数の推移

小学校



● 平成元年度～平成10年度

⇒ 児童数 $\Delta 1,948,390$ 名 小学校数 $\Delta 557$ 校

● 平成11年度～平成22年度(平成の大合併)

⇒ 児童数 $\Delta 515,750$ 名 小学校数 $\Delta 2,231$ 校
(参考:市町村数 $\Delta 1,502$)

● 平成23年度～令和3年度

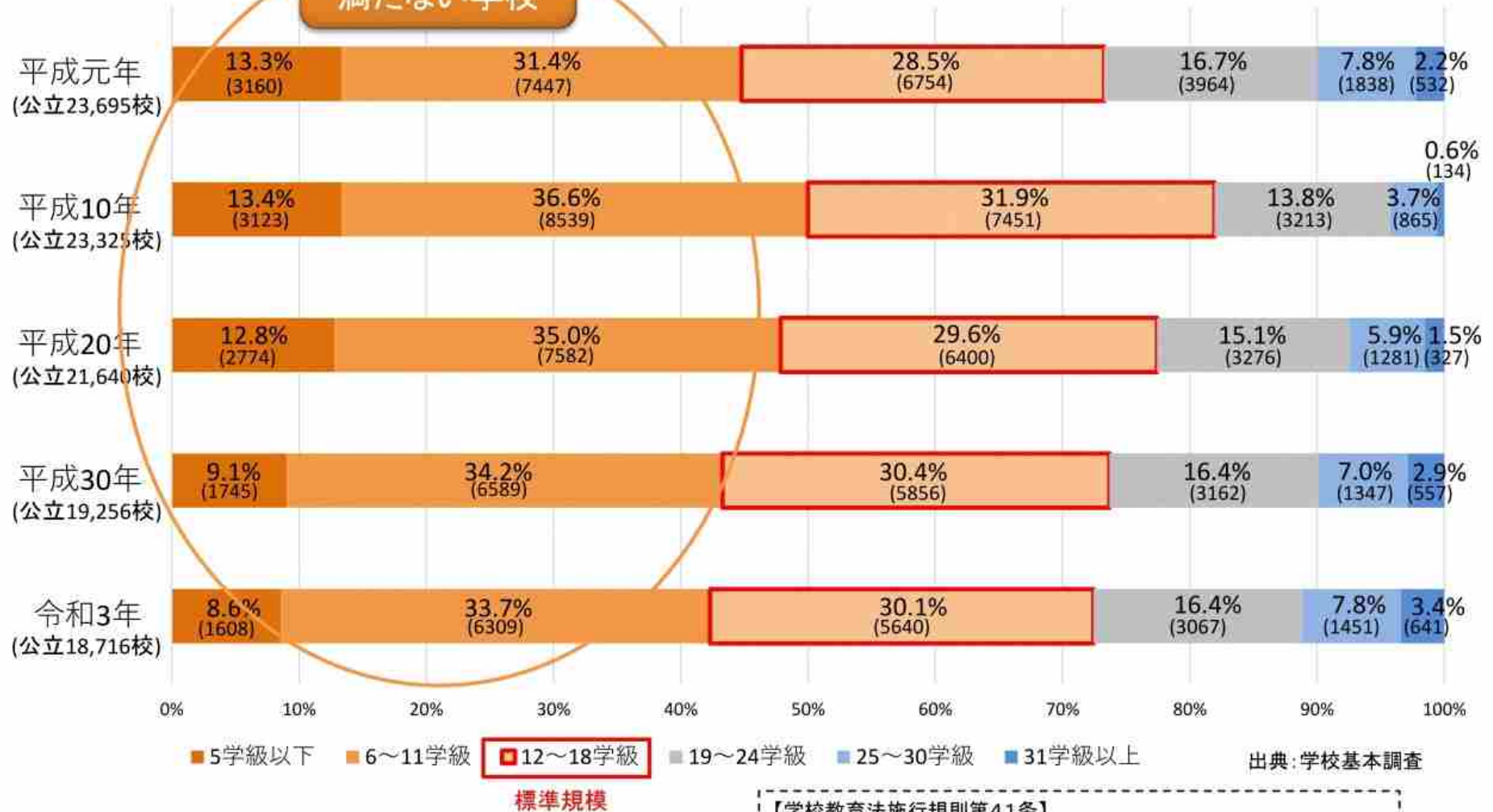
⇒ 児童数 $\Delta 656,012$ 名 小学校数 $\Delta 2,403$ 校

「平成の大合併」の間を超えるようなペースで小学校の数は減少

公立小学校の約4割が標準規模を下回る

標準規模に
満たない学校

※グラフ中の（ ）内の数字は全体の学校数（0学級の学校数を除く）に占める割合
※学校数は本校の数、分校を含まない
※特別支援学級を含む



【学校教育法施行規則第41条】

小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

※引用：文科省. 魅力フォーラム～行政説明～, p7.

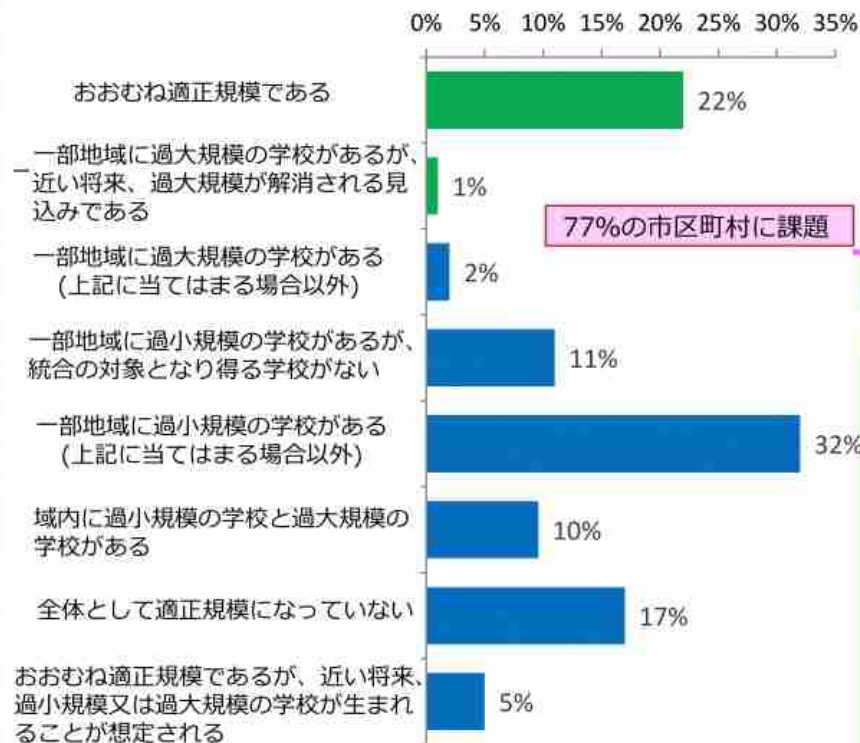
https://www.mext.go.jp/content/20220819-mxt_syoto02-000023856_1-1.pdf. 2022年8月26日

令和3年度 学校規模の適正化及び少子化に対応した学校教育の充実策に関する実態調査

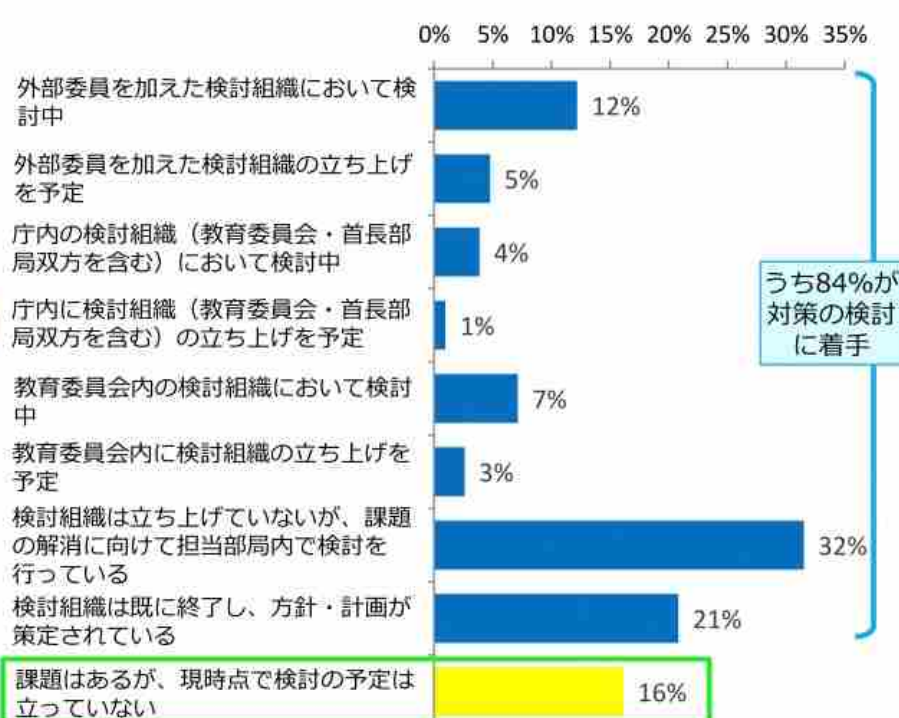
市区町村における学校規模に関する認識と検討状況

※調査対象／調査時点：全市区町村／令和3年7月26日、全都道府県／令和3年10月14日

◆市区町村の域内の学校の適正規模に関する認識



◆課題を認識している市区町村の課題解消に向けた検討状況



※グラフは数値を小数第一位で四捨五入しているため、合計値が100%にならない。

<経済・財政再生計画 改革工程表(KPI)>

◆学校の小規模化について対策の検討に着手している自治体の割合

※KPIの定義等 学校規模について課題を認識している市区町村のうち、課題解消に向けた検討に着手しているものと、既に検討が終了しているものの合計が占める割合

2014(平成26)年度 46% → 2016(平成28)年度 58% → 2018(平成30)年度 79% → 2021年度 84%

目標値 2/3^{※1} 目標値 100%^{※2} ^{※3}

※1「経済・財政再生計画 改革工程表 2017改訂版」における目標値

※2「新経済・財政再生計画 改革工程表 2018」における目標値

※3 学校規模について課題を認識している市区町村のうち、小規模校のメリットを最大化させる取組若しくはデメリットを最小化する取組も含んだ課題解消に向けた取組を行っている自治体又は検討に着手している自治体の割合 100%

※引用：文科省、学校魅力フォーラム～行政説明～，p7.

https://www.mext.go.jp/content/20220819-mxt_syoto02-000023856_1-1.pdf. 2022年8月26日

適正規模・適正配置に関する基本的な考え方

- 児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという特質を踏まえると、学校については、一定の規模を確保することが望ましい。

※小規模の場合には、例えば、以下のような課題が生じる

- ・クラス替えができない、クラス内で男女の偏りが生じる、人間関係が固定化する
- ・多様な意見に触れることが難しくなる、スポーツ実技や合唱・合奏などが困難になる



- そのため、文部科学省では、小中学校の学校規模（学級数）の標準等を設定。
（学校教育法施行規則において、学校規模の標準は、小中学校ともに、**12学級以上18学級以下**）

- 学校規模の適正化の検討は、あくまでも児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために行うべきもの。

※学校には一定の規模が必要な一方で、統廃合の結果、極端に長距離の通学が求められることなども問題。

- また、学校は地域のコミュニティの核として、防災・保育・地域の交流の場等の機能を併せ持つ。地域の事情により、学校統廃合が困難な場合や小規模校として存続させることが必要な場合もある。



統廃合することも、小規模校として存続させることも、設置者である自治体が判断。

※小規模校として存続させる場合、メリットを最大化するとともに、デメリットを最小化するような工夫が必要。

小規模特認校の成功事例

資料9



5年以内に複式学級を解消しなければ廃校を宣告。
35人の小さな学校が小規模特認校として再スタート。
学校、地域、行政一体となった魅力ある学校づくり
により奇跡の復活！！

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	16名 (10名)	20名 (12名)	16名 (12名)	18名 (9名)	20名 (16名)	16名 (8名)	106名 (67名)

☆赤字は小規模特認校制度を利用して入学した新学区の児童数

⇒小規模特認校に指定された2005年から
児童数は3倍！その半数以上が学区外！



ア 実践的なコミュニケーション力の育成

■ 会話科

日本語による表現力の向上を目指す、会話科「ことばの時間」では、アナウンサーや劇団員などによる専門性を生かした授業を実施し、体験を通して学びを深めます。

■ 外国語科・外国語活動

外国人の英語指導業務会計年度任用職員（AET）が常駐し、外国語科や外国語活動をはじめとする教科学習や学校行事など様々な教育活動において、英語を使った実践的なコミュニケーション能力を育成しています。

イ 地域の特性などを生かしたさまざまな教育活動

■ 「学習の基礎・基本」「英会話力」「基礎体力」向上のためのプログラム

教職員2名体制での朝の学習や英会話タイムの継続を通して「基礎学力」の定着を図るとともに、体幹を鍛える運動等の継続的な実践により「基礎体力」を育みます。

■ 文化人の先生による「書」「彫塑」「陶芸」「箏」「ダンス」の授業

一流に触れながら子どもたちの「感性を磨く」ことを目指して、芸術・文化の各分野で活躍されている文化人の先生方による授業を展開します。

■ 恵まれた自然環境を活用し、栽培・調理・食味を一体化した食農教育

給食農園やなかよし田んぼにおける土とのふれあいを通して、農業体験と食育を統合した食農教育を充実させます。

ウ 充実した放課後活動

「こがし桜スクール」が、放課後（午後2時～7時）及び長期休業中（午前8時～午後7時）に、児童を預かり、英会話活動や授業の予習復習、各種スポーツ活動などを実施します。



【広報紙(市部) 特選】
愛媛県西条市 広報さいじょう(2021年7月号)



【広報紙(町村部) 特選】
神奈川県葉山町 広報葉山(2021年12月号)

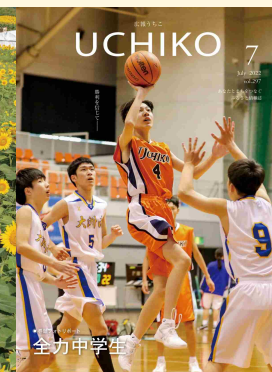
愛媛県内子町 広報うちこ

— あなたとまちをつなぐふるさと情報誌 —

8年連続入選(2015年～2022年) 内閣総理大臣賞2回受賞



2022年：広報紙(町村部)	入選1席
2021年：広報紙(町村部)	入選1席
2020年：広報紙(町村部)	入選1席
2019年：広報紙(町村部)	特選 【内閣総理大臣賞】
2018年：広報紙(町村部)	特選 【内閣総理大臣賞】
2017年：広報紙(町村部)	入選2席
2016年：広報紙(町村部)	入選3席 【読売新聞社賞】
2015年：広報紙(町村部)	特選 【総務大臣賞】



愛媛県内子町 広報うちこ

— あなたとまちをつなぐふるさと情報誌 —

特集

ぼくの夢 わたしの夢

鬼塚 澤里さん 内子小学校6年(内子18第2)

自分らしく踊るダンサーになって
いつかオリンピックに出てみたい

私は1年生の時からブレイクダンスを習っています。曲を聴いてステップや逆立ちなどを組み合わせる即興のダンスです。人によって踊り方は全然違います。音に合わせるのが難しいけれど、少しずつ自分なりに技をつなげられるようになってきました。きれいに技が決まったときは気持ちいいです。

ブレイクダンスには技を競い合う大会があります。10月の大会では緊張して力を出し切れずに負けてしまい、悔しい思いをしました。先生に教わった「考え過ぎずに楽しく踊ることを忘れずに、もっと技を練習して自分らしくのびのびと踊り切れるようになりたいです。憧れているのは世界で活躍するAmiさん、Ayumiさんというダンサーです。どちらもオリジナリティがあって、見ていて勉強になります。2人のようなダンサーになって、いつかオリンピックに出るのが私の夢です。



コロナ禍やウクライナ危機などによって、私たちの社会は急激な変化を続けています。そんな中、変わらない笑顔で接客をする奥嶋ハル子さん(左)。田渡地区の土曜市「およりんか」でメンバーの皆さんと一緒に野菜などを販売しています。大正15年から96年間、波乱万丈の人生を歩んできましたが、「時代時代に合わせて一生懸命生きたい」と笑います。今回の特集では、こんな時代だからこそ大切にしたいこと、子どもたちに伝えたいことを考えます。あなたは今日をどう生きますか? どんな姿を未来を担う子どもたちに見せたいですか——

my life Today
あなたは今日をどう生きますか



CONTENTS 目次 UCHIKO vol.302 広報うちこ2022年12月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集 my life Today —あなたは今日をどう生きますか—
- 16 まちのニュース 内子座晩餐会／内子町読書活動研究会 他
- 18 うちこ往來 一輪車体験事業／林業まつり／五十鈴文化祭 他
- 20 みんなのひろば
- 24 図書館のひろば
- 25 ゆうていあ Vol.260
- 26 町からお知らせ
- 31 くらしの情報
- 33 社協のひろば
- 34 健康力レジャー
- 36 住人生活

COVER

表紙の写真



○毎月欠かさず特集記事を組む
○1つのテーマを掘り下げることで「より伝わりやすくする」
○関係する住民を取材することで「町民と一緒に作れる」
○地域の人の魅力をストレートに伝えるために印刷以外の作業は
全て自分たちで行う→コスト削減にも繋がる
○写真が重要(「1枚の写真は1000語に匹敵する」といわれる)



愛媛県内子町 広報うちこ

— あなたとまちをつなぐふるさと情報誌 —

資料14

NEWS&NEWS まちのニュース

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちのニュースや町からのお知らせにも写真をたくさん使用し、住民を登場させる

紙面が単調にならないようにレイアウトや色、イラストの使用など工夫する

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちのニュース 町からのお知らせ 暮らしの情報 etc

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

住人十色

良き仲間、良きライバル みんなでひた走る全国の道

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

まちの歴史を語り継ぐと身辺に
内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。内子町民会館で、まちの歴史を語り継ぐと身辺に。

大阪府内のデマンド交通の実証実験状況

資料15

項番	市町村	名称	実証実験期間	車両タイプ	AI活用
1	大阪市	－	令和3年3月から 令和4年4月からエリア拡大	ワンボックス	○
2	堺市※	－	令和5年1月10日～3月10日	ワンボックス	○
3	八尾市	たいしょう号、しき号、 あけがわ号、たかやす号、 なんたか号、たこち号	令和5年2月1日から	タクシー	×
4	泉佐野市	トゥクタク	令和5年1月下旬頃	電動アシスト付 3輪自転車	×
5	門真市	－	令和5年4月1日から3年間	タクシー	×
6	四條畷市	－	令和2年4月1日から	タクシー	×
7	阪南市	チョイソコ	令和5年1月5日～2月28日	タクシー	×
8	豊能町※	HANI+ (ハニタス)	令和5年2月1日～2月28日	ワンボックス	○
9	能勢町	－	令和4年7月1日から1年間	タクシー	×
10	熊取町	－	令和4年9月15日～11月14日	タクシー	○

10市町村で実証実験を実施(内8市町村は令和4年度から)

※堺市、豊能町は「大阪府 AI オンデマンド交通モデル事業費補助金」を活用

資料16

国土交通省